

セッション1 6月23日(口頭発表 9:45~11:00 ポスター発表 11:00~11:50)

- S1-01 堆積環境の異なる地下帯水層における温度変化と水質変化の関係
○斎藤健志・上島雅人・川本 健・小松登志子(埼玉大学)
- S1-02 土壌溶出試験における風乾および固液分離条件が砒素溶出量に及ぼす影響
○海野 円・根岸昌範・高畑 陽(大成建設)・岩井芳典(オオスミ)・浦野紘平・浦野真弥(環境資源システム総合研究所)
- S1-03 中国汚染土壌の中日溶出試験の比較と不溶化処理
○山田百合子・伊藤 洋(北九州市立大学)・吉田憲幸(Shanghai Soil Environmental Technology Inc.)
- S1-04 重金属汚染土壌に対する不溶化処理メカニズムの解明と不溶化材の高度化
○高垣修太(不動テトラ)・稲澤知洋(緑商事)・稲積真哉(明石工業高等専門学校)
- S1-05 貝殻を用いた海成堆積物の低コスト・低負荷型汚染対策手法の開発
○石山 高・八戸昭一・濱元栄起(埼玉県環境科学国際センター)
- S1-06 硬質粘土に含まれる自然由来砒素の鉄粉による浄化技術
○山崎啓三・高田尚哉・三浦俊彦・武田 厚・守屋洋一・日笠山徹巳(大林組)
- S1-07 重金属吸着マットを用いた自然由来重金属の処理検討 その2
○石神大輔・渡辺哲哉(JFEMネラル)・五十嵐敏文(北海道大学)・田村拓四郎(アイコス)・田作淳(北陽)・土光政伸(石原産業)
- S1-08 撥水剤を用いたズリへの重金属溶出抑制効果の検討
○村田博一・小島啓輔・隅倉光博・藤城春雄(清水建設)
- S1-09 鉛同位体比による鉛汚染土壌の汚染原因検討
○高階義大(洛菱テクニカ)
- S1-10 上向流カラム通水試験の通水速度及び解砕粒径が溶出挙動に与える影響
○藤川拓朗・堀 睦・佐藤研一(福岡大学)・肴倉宏史(国立環境研究所)・保高徹生(産業技術総合研究所)
- S1-11 汚染土壌等の適正利用に関する考え方
○有馬孝彦・門倉伸行・吉村雅仁・門間聖子・秦浩司・汚染土壌の適正な処理及び利用に関する検討部会(土壌環境センター)
- S1-12 トリクロロエチレンによる広域的地下水汚染の改善事例
○平塚達也(山形県環境科学研究センター)・大岩敏男(大岩環境技術士事務所(前山形県環境科学研究センター))
- S1-13 金属溶液添加による脱塩素細菌の浄化促進効果
○伊藤雅子・高畑 陽(大成建設)
- S1-14 ベンゼン分解産物によるトルエンの好氣的微生物分解の促進
○吉川美穂・張 銘(産業技術総合研究所)・豊田剛己(東京農工大学)
- S1-15 建屋直下への土壌浄化薬剤注入法の開発
○西田憲司・緒方浩基・日笠山徹巳(大林組)・大島 浩(大阪防水建設社)
- S1-16 VOC汚染土壌の加温式原位浄化法における加温曝気・砂ろ過装置の検討
○舟川将史・古川靖英・長谷川愛・清水孝昭(竹中工務店)
- S1-17 土壌中揮発性有機化合物汚染の加温による溶出・微生物分解促進効果
○高橋奈津子・田小維・青木 容・小林 剛(横浜国立大学)・山崎祐二・長谷川愛(竹中工務店)
- S1-18 燃料油による汚染土壌のオンサイト型バイオレメディエーション技術
○西村咲希・田中宏幸・中島卓夫・西村良平・仲 賢(鴻池組)・堤純一郎(琉球大学)

- S1-19 シンバを用いた油汚染土壌のファイトレメディエーション4
○石尾将吾・大志万浩一・原 真司(住友林業)・日下部友昭(住友林業緑化)・家田 裕(JXエネルギー)
- S1-20 草木類選別補助材の適用性検討—細粒分含有率と含水率が選別能力に与える影響—
○大橋麻衣子・田中真弓・井関泰文・押野嘉雄・小澤一喜(鹿島建設)
- S1-21 利用用途に応じた土壌汚染GISの基礎データの検討
○大図啓史・平田健正・福永 勲・江種伸之・吉川克彦・飯田哲也(土壌汚染対策コンソーシアム)
- S1-22 大規模不法投棄現場東側におけるハロゲン化物の経時変化
○颯田尚哉・立石貴浩・浦野友貴・河村達哉(岩手大学)
- S1-23 地下水中アンモニア除去へのアナモックスの適用—パイロット試験および長期室内試験による検討
○藤川陽子(京都大学)・平 大輔・藤井隆夫・Phan Do Hung(崇城大学)・鈴木市郎(ベトナム国立環境技術研)・古川憲治(熊本大学)
- S1-24 汚染地下水の揚水可能範囲の推定
○上田祥央・井上一哉・田中勉(神戸大学)
- S1-25 サステイナブル・レメディエーション(SR)の取り組みと英国での事例紹介
○高畑陽・緒方浩基・大村啓介・日野成雄・舟川将史・サステイナブル・アプローチ部会(土壌環境センター)

セッション2 6月23日(口頭発表 13:35~14:50 ポスター発表 14:50~15:40)

- S2-01 カラム試験による掘削ずりの溶出特性とその粒径依存性の評価
○乾 徹・竹尾美幸・高井敦史・勝見 武(京都大学)
- S2-02 環境基準～排水基準レベルの砒素を対象とした簡易水質分析キットの開発
○村居景太・奥村 浩・岡内俊太郎(共立理化学研究所)
- S2-03 マグネシウム化合物によるヒ素除去に関するヒ素吸着平衡濃度および吸着速度について
○杉田創・張銘・小熊輝美・原淳子・柳澤教雄(産業技術総合研究所)
- S2-04 酸化鉄系材料によるセレン実汚染土壌の不溶化検討
○土光政伸・平井恭正(石原産業)
- S2-05 リン酸水素カルシウム二水和物によるふっ素汚染土壌の不溶化処理
○松岡晴隆・清水義喜(ダイキン工業)・萩野芳章(不動テトラ)・袋布昌幹(富山高等専門学校)
- S2-06 不溶化処理土の盛土施工時の環境影響の調査
○三浦俊彦・森下智基・日野良太・日笠山徹巳(大林組)
- S2-07 膜式真空方式によるセメント混入汚染泥土の減量化に関する実験
○山野辺純一・上沢 進(ケミカルグラウト)・西田健吾(グリーンディール推進協会)・石井有光(JFE環境)
- S2-08 カルシウム／マグネシウム系複合材料によるヒ素、鉛、フッ素、ホウ素・セレンの収着
○伊藤健一・境健太郎(宮崎大学)・國西健史・板谷裕輝・林慎太郎(住友大阪セメント)

- S2-09 遮水壁と揚水処理の併用による汚染地下水の拡散防止対策について
○日野成雄・下村卓矢(DOWAエコシステム)・吉村雅仁(PPLi)
- S2-10 掘削ずりの粒径が不溶化効果に及ぼす影響
○天本優作・松山祐介・守屋政彦・杉山彰徳(太平洋セメント)
- S2-11 1、4-ジオキサン¹の日本国内における分布及び環境動態に関する調査
○中村謙吾・伊東玄樹・駒井武(東北大学)
- S2-12 フェーメンターを用いた脱塩素化細菌の培養および細胞増殖シミュレーション
○吉田奈央子(名古屋工業大学)・片山新太(名古屋大学)
- S2-13 原位置浄化施工中におけるpH低下対策についての検討試験
○片山美津瑠・金子伯男・赤塚真依子・高畑陽(大成建設)
- S2-14 ワイン残渣を有効利用した過硫酸法によるVOC分解促進法の開発およびその原位置浄化実証試験
○晴山 渉・大里直己・中澤 廣(岩手大学)・遠藤哲哉(セロリ)・坂本宏行(大東環境科学)
- S2-15 海外におけるフェントン処理技術の適応可能性に関する検討
○王 寧・飯野浩成・張文字(フジタ)・森 孝之・石井善昭(環境管理センター)
- S2-16 アメリカにおけるグリーナー・クリーンアップの枠組み・標準ガイド化及び改正動向
○張 銘・保高徹生(産業技術総合研究所)・高畑 陽(大成建設)・古川靖英(竹中工務店)・川端淳一(鹿島建設)
- S2-17 土壌浄化モニタリングカプセルの開発とその利用方法
○打木弘一・宮田滉規・野田典広・永川勝久・萩村俊司・五十嵐央(基礎地盤コンサルタンツ)
- S2-18 マイクロバブルオゾン水と圧縮空気を用いた油汚染土壌の浄化技術の開発
○片岡昌裕・大橋貴志・尾本志展(NIPPO)
- S2-19 水を用いた放射線遮蔽体構造について
○松尾寿峰・谷口雅弘・岳尾浩一(大成建設)
- S2-20 地下水汚染の現状
○渡辺正子
- S2-21 1,4-ジオキサンの地盤環境中での分配・揮発特性に関する実験的考察
○中島 誠・日高レイ(国際航業)
- S2-22 1,4-ジオキサン及び塩化ビニルモノマーによる土壌汚染調査手法の検討～国内外の分析法と分析法に関する諸課題～
鈴木圭一・松村光夫・土谷猛・青木陽士・鈴木義彦・未規制物質による土壌汚染調査・対策手法検討部会(土壌環境センター)
- S2-23 自然由来砒素汚染土壌のロードカーブ特性とデカントによる砒素全含有量の分離
○設楽和彦・毛利光男・石鍋誠一・江口崇・田中仁志(清水建設)
- S2-24 中国における土壌環境対策の動向に関する一考察
○仇啓涵・羽瀨博臣(住化分析技術)・大悟法弘充(住化分析センター)・羅旭彪・塗新満(南昌航空大学)・花島浩(上海井戸屋環境科技)

セッション3 6月23日(口頭発表 15:40~16:55 ポスター発表 16:55~17:45)

- S3-01 路面標示塗料磨耗粉じんの沈着による土壌汚染の可能性の検討
○グエンティーランビン・姫 旭・田 小維・小林 剛(横浜国立大学)
- S3-02 バッチ溶出試験の課題と対応(1) 振とう条件が濁度と重金属濃度に与える影響について
○保高徹生・井本由香利・黒澤暁彦(産業技術総合研究所)・染矢雅之・東野和雄(東京都環境科学研究所)・
肴倉宏史(国立環境研究所)
- S3-03 不溶化処理土の混合精度と長期安定性に関する現場調査事例
○松山祐介・守屋政彦・長瀬孝宏・小向雄人(太平洋セメント)
- S3-04 土壌・地下水汚染の措置・対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(平成26年度実態調査)
○加洲教雄・中島広志・白川 武・神谷光昭・三谷孝司・門間聖子(土壌環境センター)
- S3-05 コロイド態重金属に対するリン資材と含鉄資材の併用の不溶化効果
○小川翔平・佐藤 健(岐阜大学)・加藤雅彦(明治大学)
- S3-06 シアン化合物分解細菌の単離とそのシアン分解酵素
○小松大祐(アイ・エス・ソリューション)・寺田彩音・養王田正文(東京農工大学)
- S3-07 鉄鋼スラグ混合によるアルカリ性掘削岩・土砂からのヒ素溶脱抑制
○鎌田明秀・加藤雅彦(明治大学)・三浦俊彦・藤井治彦(大林組)・高木信浩・赤司有三(新日鐵住金)
- S3-08 セレン(VI)含有排水の還元処理の検討
○河合達司・田中真弓・川端淳一(鹿島建設)
- S3-09 モエジマシダを用いた廃水からのヒ素の除去
○井上千弘・黄毅・菅原一輝(東北大学)・宮内啓介・遠藤銀朗(東北学院大学)
- S3-10 多段溶出試験と臨界液固比を用いた自然由来ヒ素の長期的溶出リスク評価方法の提案
○小杉智也・李継寧・細見正明(東京農工大学)
- S3-11 Rhodococcus jostii RHA1株によるシス-1,2-ジクロロエチレンの浄化における酸素供給方法の影響
○渡邊亮哉・高畑陽・伊藤雅子(大成建設)
- S3-12 FID検出器による塩化ビニルモノマーを含む土壌ガス12物質の一斉分析の可能性について
○秋田憲・和田豊仁・川本啓三(島津製作所)
- S3-13 嫌気性バイオレメディエーションの加温による促進効果及びそのモデル化に関する検討
○山崎祐二・長谷川愛・稲葉薫・清水孝昭(竹中工務店)・田小維・小林剛(横浜国立大学)
- S3-14 水中放電プラズマを用いたジクロロメタンの高速分解
○金野良介・高橋克幸・高木浩一・颯田尚哉(岩手大学)・横田大樹(エヌエス環境)
- S3-15 東京湾海水から分離した鉱物油分解菌のVOCに対する好気微生物分解について
○佐藤徹朗・小林幸弘・鈴木誠治・今田千秋(国際航業)
- S3-16 米国-元廃棄処理場でのTCE汚染物の浄化事例
○デイック レイモンド(米国テラ システム)・茅野 徹(米国パシフィック リム サービス)
- S3-17 土壌汚染対策法に基づく特定有害物質の見直しによる一考察
○上田剛・當田紀賢(パナソニック環境エンジニアリング)

- S3-18 PCB異性体分析と統計解析による汚染源物質と拡散の推定
○熱田真一・糸永眞吾(アサノ大成基礎エンジニアリング)
- S3-19 掘削時の油臭抑制資材の効果比較試験
○大西健司・大島義徳・西川直仁(大林組)
- S3-20 各種吸着材の吸着特性評価(その2)
○宮脇健太郎・平山涼一・小松冬晴子(明星大学)・下田宏治・峯村慎一(東洋紡)・西岡国(呉羽テック)
- S3-21 Development of Clay Liner for Landfills of Developing Countries: A Case Study in Sri Lanka
○Hafiz Muhammad Awais Rashid¹, T. Saito, and K. Kawamoto (Saitama University), J. A. D. K. Wanigarathna (Nanyang Technological University, Singapore), L. C. Kurukulasuriya (University of Peradeniya, Sri Lanka), N. H. Priyankara (University of Ruhuna, Sri Lanka)
- S3-22 1,4-ジオキサン及び塩化ビニルモノマーによる土壌汚染調査手法の検討～海外文献調査結果と各調査段階における課題と対応策～
○鈴木義彦・青木陽士・伊藤哲緒・佐藤秀之・野田典広・未規制物質による土壌汚染調査・対策手法検討部会(土壌環境センター)
- S3-23 土壌汚染区域における基礎杭の施工方法(その3)
○津野将馬・沼田茂己・牧田晃介(旭化成建材)
- S3-24 中国江西省における地下水(排水)汚染対策 一曝気装置を用いた処理事例一
○羽瀧博臣(住化分析技術)・大悟法弘充(住化分析センター)・鴻野雅一(バイオレンジャーズ)・羅旭彪(南昌航空大学)・冷健雄(江西怡杉環保股份)・蔣小平(江西凱美迪生物醫藥技術)
- S3-25 上向流カラム通水試験の土壌中における卓越流路の三次元可視化
○青木飛翔・中村謙吾・渡邊則昭・駒井武(東北大学)

セッション4 6月24日(口頭発表 9:20～10:35 ポスター発表 10:35～11:25)

- S4-01 低濃度ウラン含有岩石からのウラン溶出特性
○加藤雅彦(明治大学)・三浦俊彦・奥澤康一・藤井治彦(大林組)・大竹雄(新潟大学)・佐藤健(岐阜大学)
- S4-02 湿潤及び乾燥建設発生土からの重金属類溶出特性比較
○張 銘(産業技術総合研究所)・山野辺純一・内田真理子(ケミカルグラウト)
- S4-03 不溶化剤による鉛・カドミウムの吸着及び脱着試験
○呉 懿奇・榊原 努・梅田 敦(メイホーエンジニアリング)・清水 創(岐阜大学(現 東海旅客鉄道))・加藤雅彦(明治大学)
- S4-04 ふっ素吸着型地下水浄化壁の開発
○加藤頭・日笠山徹巳(大林組)
- S4-05 乾式磁力選別による重金属含有土壌の処理について
○友口 勝・鎌田雅美・日野成雄・野崎順兵(DOWAエコシステム)・吉 俊輔(エコシステム花岡)
- S4-06 ソイルベントナイト遮水壁の自己修復性と拡散輸送
高井敦史・○辰巳鴻介・乾 徹・勝見 武(京都大学)・増渕 淳(ライト工業)
- S4-07 酸化マグネシウム系不溶化材によるセレン汚染土壌の不溶化
○横島美香・藤井啓史・上田陽一・中田英喜(宇部興産)

- S4-08 乾式磁力選別法を導入した処理施設における重金属汚染土壌の処理について
○吉俊輔・佐藤直樹・寺島昇吾(エコシステム花岡)
- S4-09 わが国の土壌汚染対策におけるリスク評価手法の活用方策
○奥田信康・佐々木哲男・高階 修・立野久美・中島 誠・サステイナブル・アプローチ部会(土壌環境センター)
- S4-10 バッチ溶出試験の課題と対応(2)遠心分離とフィルター種が濁度と重金属濃度に与える影響について
○染矢雅之・東野和雄(東京都環境科学研究所)・保高徹生・井本由香利(産業技術総合研究所)・肴倉宏史(国立環境研究所)
- S4-11 VOCs汚染水の曝気による浄化および発生ガスの光触媒による分解試験
○平井恭正・畑中恒孝・森田一太(石原産業)
- S4-12 1,4-ジオキサン及び塩化ビニルモノマーによる土壌・地下水汚染に係わる対策・処理技術の検討と対策上の留意点
○大橋貴志・菊池毅・山本哲史・黒澤典明・未規制物質による土壌汚染調査・対策手法検討部会(土壌環境センター)
- S4-13 促進酸化法を用いた汚染地下水の浄化に関する検討 その2
○小山真樹・高木一成(地盤環境エンジニアリング)
- S4-14 揮発性土壌汚染物質の揮散による室内汚染リスクの評価
○小林剛・込堂俊輔・富澤茉佑香・上田裕之・田小維(横浜国立大学)・高橋ゆかり(富山国際大学)
- S4-15 ドレーン工法を用いた油回収に関する検討
○増田真佑・関弘・河合達司・川端淳一(鹿島建設)・三成昌也・小柳勇也(錦城護謨)
- S4-16 シバを用いた油汚染土壌のファイトレメディエーション5
○家田裕(JXエネルギー)・日下部友昭(住友林業緑化)・大志万浩一・石尾将吾・原真司(住友林業)
- S4-17 セシウム汚染土壌粗粒分の高度処理～バーミキュライトの磁選による除去～
○湊川和貴(北海道大学)
- S4-18 ソーティング装置による放射能濃度に応じた除去土壌の分別
○島田曜輔・岳尾浩一・守屋雅之(大成建設)
- S4-19 多機能盛土における天端部構造の強度および排水機能に関する研究
○安藤彰宣(旭化成ジオテック)・伊藤 洋(北九州市立大学)・三井清志(ひびき灘開発)・松尾俊和(泉商会)
- S4-20 1,4-ジオキサンの地盤環境中での浸透・吸着特性に関する実験的考察
○日高レイ・中島 誠(国際航業)
- S4-21 Review on Variations in water quality for perched water inside waste and groundwater close by open dumpsites
○Udayagee Kumarasinghe, Ken Kawamoto, Takeshi Saito (Saitama University), M.I.M. Mowjood (University of Peradeniya), M. Nagamori(Center for Environmental Science in Saitama)
- S4-22 ウラン含有土壌への対応における検討
○日野良太・藤井治彦・三浦俊彦・奥澤康一・福武健一・日笠山徹巳(大林組)
- S4-23 日本におけるサステイナブルレメディエーションの取り組み紹介
○古川靖英(竹中工務店)・保高徹生(産業技術総合研究所)・中島誠・佐藤徹朗(国際航業)・大村啓介(竹中土木)
- S4-24 水溶性汚染物質の広域輸送に関する数値解析的検討
○小尾泰輝・井上一哉・田中勉(神戸大学)

セッション5 6月24日(口頭発表 13:35~14:50 ポスター発表 14:50~15:40)

- S5-01 第二種特定有害物質の分布特性に関する統計的評価手法の一考察
○前田健太郎・長縄康弘(パナソニック環境エンジニアリング)
- S5-02 電位変調電気浸透法による土壌モデル系での流速と重金属移動
○梶原佑紀・中谷清治(筑波大学)
- S5-03 自然由来重金属等含有シールド泥水の鉄粉法による浄化技術における鉄粉分離回収装置の比較検討
○秦 浩司・武石 学・木川田一弥(安藤ハザマ)
- S5-04 地表面蒸発促進による汚染物質の表面濃縮実験
○今野琴音・伊藤 洋(北九州市立大学)
- S5-05 6価セレンの不溶化処理に関する基礎的検討
○大山 将(鴻池組)
- S5-06 鋼矢板を利用した透過性浄化壁の実証試験
○宮崎隆洋・竹崎 聡・三浦俊彦・西田憲司・日笠山徹巳(大林組)
- S5-07 中性型重金属不溶化材が植生および水生環境に与える影響の評価
○森 喜彦・松山祐介・守屋政彦・杉山彰徳(太平洋セメント)
- S5-08 重金属等不溶化材の性能特性と利用時の課題について
○國西健史・沖原直生(住友大阪セメント)・山田優子・中島誠・平山利晶(国際航業)
- S5-09 沈降分析法とレーザー回折/散乱法による粒度分布測定値の相違
○毛利光男・設楽和彦・石鍋誠一・江口崇・田中仁志(清水建設)
- S5-10 海面処分場における有害物質の漏出評価に基づくリスクマネジメント
○関谷美里・稲積真哉(明石工業高等専門学校)
- S5-11 上向流カラム通水試験の国際標準化への取組み状況(2)
○保高徹生(産業技術総合研究所)・肴倉宏史(国立環境研究所)・田本修一(寒地土木研究所)・ISO/TC190
部会(土壌環境センター)
- S5-12 サンプリング方法の違いによる試料への影響 ~土壌試料への影響について~
○佐藤秀之(ランドコンサルヂュ)・石川修(建設技術センター)・Wesley McCall(Geoprobe Systems)
- S5-13 土壌中揮発性有機塩素化合物の微生物分解特性への温度及び栄養剤の影響
○田小維・高橋奈津子・鈴木一郎・小林剛(横浜国立大学)・山崎祐二・長谷川愛(竹中工務店)
- S5-14 VOC汚染サイトにおける電気発熱による原位置浄化対策への影響について(その4)
○瀬野光太・佐藤徹朗(国際航業)・長曾哲夫(島津製作所)
- S5-15 原位置バイオスティミュレーションにおける事前検討及び調査による浄化精度向上事例
○新宮原秀和・西原光一(新日本グラウト工業)・中島広志(戸田建設)

- S5-16 透過性地下水浄化壁の耐久性評価事例
○根岸昌範・岩崎広江(大成建設)
- S5-17 酒石酸含有廃棄物とFe(III)によるクロロメタン類光分解処理技術の開発
○三橋実季・晴山 渉・中澤 廣(岩手大学)
- S5-18 上総層群堆積物における自然由来の砒素の存在形態と溶出機構
○熱田真一(アサノ大成基礎エンジニアリング)・太田岳洋(鉄道総合技術研究所)
- S5-19 鋼製水槽を利用した油汚染土壌のバイオオーグメンテーション
○長千佳・小河篤史・湯浅勉(奥村組)
- S5-20 界面活性剤の投与パターンに着目した機械油汚染地盤の非掘削浄化に関する室内土槽実験
○棚橋秀行(大同大学)
- S5-21 無機及び高分子系材料で構成される中性の改質材を用いた、高含水・高粘性除去土壌の改質、草木選別に関する実証
○杉浦栄亮・関弘・豊田毅・小笠原桂・吉川修・井関泰文(鹿島建設)
- S5-22 大阪平野を対象とした土壌汚染GISの開発
○吉田宗久・吉川克彦・飯田哲也・福永 勲・平田健正・江種伸之(土壌汚染対策コンソーシアム)
- S5-23 1,4-ジオキサン汚染地下水酸化分解処理の促進方法の研究
○緒方浩基・西田憲司・佐藤祐輔・大島義徳(大林組)
- S5-24 放射性物質汚染対処特措法対象地域における土壌汚染調査・対策に関する現状～課題抽出とその解決に向けた検討～
○椿雅俊・阿部美紀也・森岡錦也・白石祐彰・永野公太・放射性物質による土壌汚染調査対策検討部会(土壌環境センター)
- S5-25 バッチ溶出試験の課題と対応(3)土壌溶出量試験の歴史
○井本由香利・保高徹生(産業技術総合研究所)・肴倉宏史(国立環境研究所)・宮口新治(応用地質)

セッション6 6月24日(口頭発表 15:40～16:55 ポスター発表 16:55～17:45)

- S6-01 鉄粉による砒素浄化時の砒素分配挙動の解析
○飯島勝之・吉川英一郎・古田智之(神戸製鋼所)
- S6-02 福岡市における自然由来土壌・地下水汚染の状況
杉谷和彦・小島 愛・○藤井なつみ・神野健二(アースアプレイザル九州)
- S6-03 湿式ボールミルを用いた石炭灰・脱硫酸石膏の迅速溶出試験法の開発と品質工学による最適化
○安池慎治(電力中央研究所)
- S6-04 シアンの環境特性及び各種分析法に関するISO/TC190規格制定の現状
○王 寧・平田 桂・松村光夫・ISO/TC190部会(土壌環境センター)
- S6-05 鉛・砒素汚染土の分級洗浄と鉄粉洗浄磁気分離による浄化事例
○伊藤圭二郎・川端淳一・伊藤康則・辻本宏(鹿島建設)・高柳克也(ケミカルグラウト)
- S6-06 多機能盛土による重金属浸出抑制効果に関する実証実験Ⅲ-解体時の分析評価-
○大石 徹(日鉄住金環境)・伊藤 洋(北九州市立大学)・安藤彰宣(旭化成ジオテック)
- S6-07 自然由来砒素汚染を含む気泡混合土の切羽不溶化技術の基礎的検討
○松村綾子・根岸昌範・高畑陽(大成建設)

- S6-08 水銀汚染土壌に対する水銀蒸気抑制方法の検討
○田邊康太・菅沼優巳(竹中土木)・奥田信康(竹中工務店)
- S6-09 水田土壌のヒ素およびカドミウムの溶出挙動と化学形態に及ぼす鉄鋼スラグの影響
○板橋智彦・橋本洋平・古屋光啓(東京農工大学)・山口紀子(農業環境技術研究所)
- S6-10 ゼロ価鉄を用いた土壌中セレン不溶化の安定性評価
○古園修治・森裕樹・和田信一郎(九州大学)
- S6-11 土壌汚染対策におけるサステイナビリティ評価手法の開発について
○中島 誠・日高レイ・佐藤徹朗・山口博人(国際航業)
- S6-12 持続可能な土壌汚染対策に向けたツール開発とガイドラインについて
○保高徹生・張紅(産業技術総合研究所)・濱良仁・塚田泰久・村山康樹・石塚博明(東京都環境局)
- S6-13 ダイレクトセンシング技術を用いた原位置浄化工事設計の事例
○小川えみ・草場周作(アイ・エス・ソリューション)・川上俊介・結城真一・佐藤正幸・佐藤瑞穂(アサヒ地水探査)
- S6-14 バイオスティミュレーション用薬剤の改良検討
○虫明晋哉・伊藤 浩(東急建設)・小瀧光生・篠田 功(ADEKA総合設備)
- S6-15 VOCsおよび1,4-ジオキサンに対するマイクロバブルオゾン処理工法の適用に関する検討
○大橋貴志・片岡昌裕・尾本志展(NIPPO)
- S6-16 VOCs実汚染現場での原位置微生物処理におけるpHの影響(その2)
○佐藤祐輔・西田憲司・日笠山徹巳(大林組)
- S6-17 VOCバイオ浄化における地下水水質の変化
○伊藤久裕・石井六夢(JFEミネラル)
- S6-18 土壌吸着特性を考慮した1,4-ジオキサンの健康リスク評価モデルの開発
○伊東玄樹・中村謙吾・駒井 武(東北大学)
- S6-19 ダイレクトセンシング技術の重質油汚染調査への適用
○高木一成・遠藤康仁・小山真樹(地盤環境エンジニアリング)
- S6-20 油汚染土壌の微生物分解に伴う酸素消費速度を考慮したバイオフィルの数値解析モデルとそれを利用した合理設計について
○河村大樹・佐々木静郎・村上順也・門倉伸行(熊谷組)・石森洋行(立命館大学)
- S6-21 鉄系吸着材の造粒成型物によるセシウムとストロンチウム吸着に関する考察
○宮原英隆・平井恭正・本田克久(石原産業)
- S6-22 沖縄県内主要土壌の粒度分布および流出濁水における懸濁物質の粒度分布
○座間味佳孝・知花睦・金城孝一(沖縄県衛生環境研究所)
- S6-23 放射性物質汚染対処特措法対象地域等における土壌汚染調査・対策に関する現状～アンケート調査結果～
○河内幸夫・鈴木敬一・奥田清明・山田 修・間宮 尚・放射性物質による土壌汚染調査・対策検討部会(土壌環境センター)
- S6-24 過硫酸法における1,4-ジオキサン分解に及ぼす地下水中の分解阻害要因の検討
高坂流聖・○水島祐希・晴山 渉・中澤 廣(岩手大学)・緒方浩基・西田憲司(大林組)
- S6-25 日本と中国(上海)における土壌汚染調査方法の違いに関する一考察
○仇啓涵・羽瀧博臣(住化分析技術)・大悟法弘充(住化分析センター)・陳敏・毛欣榮・梅祖明(上海市岩土工程検測中心)